

にしこおり のりこ
錦織 紀子 さん（雲南市）

2018 年度 3 次隊 青年海外協力隊

派遣国：コスタリカ 職種：コミュニティ開発

2021 年 5 月 16 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



コロナ禍も 現地へ思い

2019 年 1 月に青年海外協力隊のコミュニティ開発隊員としてコスタリカへ渡り、戦後の日本で実施された生活改善普及事業をモデルにした生活改善活動を実施する住民への寄り添い活動を行った。行政からの支援を待つのではなく、住民が自ら考え行動することで課題を解決し、生活の質の向上を目指す。そのために現地のコミュニティーを訪問して住民のニーズや課題、目的をみんなで分析し、生活改善活動を一緒に考えた。



帰国後の 2020 年のクリスマス。マスク姿の元同僚たちが写ったメッセージ付きの写真が届いた

活動のさなかの 20 年 3 月、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で一時帰国することになった。再派遣のめどが立たず、休職していた国際協力機構（JICA）研修員受け入れ事業を受託する NPO 法人の業務に 8 月復帰した。同時に、研修員が来日できず停止していた研修業務はオンラインに切り替えて実施することが決まり、事務所のある茨城県ではなく地元の島根県からテレワークをしている。

生活改善に関わる研修の事務管理を担当し、契約から研修準備、運営に携わっている。オンライン研修期間中は中南米 8 カ国と「Zoom（ズーム）」でつながり、講義と演習、普及計画策定を行う研修に研修補佐として参加した。本年度からは研修業務のほかに、生活改善を通じて生活の質の改善と青少年のビジョン形成を行って地域おこしを展開することを目標にした草の根事業が、エルサルバドルを対象に始まった。国内調整員を担当しながら、不完全燃焼で終了した協力隊の経験を生かすべく生活改善の短期専門家として現地に派遣されることを目指している。